

PASONAの法則 下書きワークシート

売りたい商品を1つ決め、PASONAの6つの問いに答えて材料をそろえ、その答えを上から並べて下書きを1本組み、媒体に合わせて長さを決め、書いたあとに点検するための4枚

この4枚でできること

- ☐ 6つの問いに答えて、下書きの材料がそろう
- ☐ 要素ごとの書き出しの例を見ながら、1〜3文ずつ書ける
- ☐ LP、メール、SNS、広告の文で、どの要素を重く書くかを決められる
- ☐ 書いたあとに6つの点検と、守る3つに印を付けられる

使う順番

2ページの記入欄を埋める → 3ページの例を見て下書きにする → 4ページで点検に印を付け、いいえの要素だけ直す。

目次

2	6つの問いの記入欄 要素ごとの問いと、答えを書く欄
3	書き出しの例と、媒体ごとの長さ 架空の塾の作例、媒体ごとに重く書く要素
4	書いたあとの点検表 6つの点検、守る3つ、確認先

数字と決まりの出どころ

この資料に載せた内容は、講座第7回の記事本文と、神田昌典・衣田順一『コピーライティング技術大全』の抜粋（ダイヤモンド・オンライン）で2026年10月24日に確かめたことだけです。作例の塾は架空です。

6つの問いの記入欄

1つの問いに1〜2文で十分

売りたい商品	
商品の名前	
読み手（誰に向けて書くか）	
要素と問い	答え（メモでよい）
1 問題 Problem 読み手は、何に困っているか	
2 親近感 Affinity なぜ自分は、その困りごとが分かるのか	
3 解決策 Solution 原因は何で、どうすれば解けるのか	
4 提案 Offer どんな商品やサービスの形で差し出すのか	
5 絞り込み Narrow 誰に向いていて、誰には向いていないのか	
6 行動 Action 次の1歩として何をしてほしいか	

答えられない問いがあれば、そこが今の商品の説明で足りない所です。親近感と解決策は、本当にあることだけで書きます。

書き出しの例と、媒体ごとの長さ

架空の個別指導塾（A塾）の例

要素	書き出しの例（中学2年生の親に向けて）
問題	2学期の数学のテストが返ってきて、1年生のころより点が下がっていた
親近感	この相談は、A塾でもいちばん多い相談の1つです。本人が怠けているわけではないことがほとんどです
解決策	2年生の1次関数は、1年生の比例の上に積み上がっています。だから、1年生までさかのぼって穴を探します
提案	無料の体験授業を2回。終わったら、つまりいていた所を紙1枚にまとめてお渡しします
絞り込み	数学を土台から立て直したい中学1・2年生向け。受験直前の総まとめを探す方には、別のコースが合います
行動	下のフォームで、希望の曜日を1つ選んで送ってください。入力は2分ほどです

媒体ごとに、どの要素を重く書くか

媒体	長さ	重く書く要素	軽く書く、任せる要素
LP、セールスレター	長い	6つすべて	なし
メール、LINEの配信	中くらい	問題、解決策、行動	絞り込みは1文
SNSの投稿	短い	問題、解決策	提案と行動は最後の1行。親近感と絞り込みはプロフィールへ
広告の文	とても短い	問題と提案	残りは飛び先のページへ

短い媒体でも順番は守ります。問題から入り、行動で終わる流れが残っていれば、PASONAの役目は果たせます。

書いたあとの点検表

いいえの要素だけ直す

点検すること	はい	いいえ
問題は、読み手が自分で言いそうな言葉で書いたか	☐	☐
親近感に、本当のことだけを書いたか	☐	☐
解決策は、原因と解き方がつながっているか	☐	☐
提案は、受け取るものまで書いたか	☐	☐
合わない人も書いたか。限定はうそになっていないか	☐	☐
行動は1つで、そのあと何が起きるかを書いたか	☐	☐

書くときに守る3つ	印
困りごとを大げさにしていない（「手遅れ」で不安を大きくしない）	☐
効果を約束していない（「必ず点が上がる」と結果を保証しない）	☐
限定でうそをついていない（ありもしない残り枠や締め切りを書かない）	☐

今の形と、生まれた当時の形の違い

	生まれた当時	今の形
2つ目のA	Agitation 問題点のあぶりたて	Affinity 親近感
解決策と提案	Solution の中に提案も入っていた	Solution と Offer に分けた
N の意味	Narrow Down 絞り込み	Narrow 適合（2021年の本から）

確認先（2026年10月24日確認）

神田昌典・衣田順一『コピーライティング技術大全』抜粋（ダイヤモンド・オンライン）	diamond.jp/articles/-/288207
--	---